



Cisco 12008 ギガビット スイッチ ルータ ケーブル マネジメント システムの交換手順

製品番号 : ACS-GSR8-CCBLM= および ACS-GSR-LCCBLM=
Customer Order Number : DOC-J-784958=

このマニュアルでは、Cisco 12008 ギガビット スイッチ ルータ (GSR) のケーブル マネジメント システムを取り付け、交換する手順について説明します。このマニュアルの内容は次のとおりです。

- 安全に取り付けるための注意事項、ESD 予防措置、および必要な工具 (p.2)
- 安全に関する注意事項 (p.2)
- 必要な工具および部品 (p.3)
- ケーブル マネジメント システムの交換 (p.4)
- ケーブル マネジメント トレイの取り外し (p.4)
- ケーブル マネジメント トレイの取り付け (p.6)
- ケーブル マネジメント ブラケットの取り外し (p.7)
- ケーブル マネジメント ブラケットの取り付け (p.9)
- CCO (p.12)

このマニュアルは、ご使用の Cisco 12008 ギガビット スイッチ ルータに付属の『Cisco 12008 Gigabit Switch Router Installation and Configuration Guide』(Document Number 78-4953-xx) と併せてご利用ください。

安全に取り付けるための注意事項、ESD 予防措置、および必要な工具

Cisco 12008 のケーブル マネジメント システムの交換の前に、ここに記載されている安全に関する注意事項を確認して人身事故や機器の損傷を防止してください。ここでは、ケーブル マネジメント システムの交換を実行するのに必要な工具および部品についても説明します。

安全に関する注意事項

次の注意事項に従って人体に対する安全を確保し、機器の損傷を防止してください。以下のリストは、作業中に発生し得る危険な状態すべてを網羅しているとは限らないので、ルータの電気および電子コンポーネントを取り扱う際は、十分に注意して作業を行ってください。

- Cisco 12008 を移動するときは、必ず事前にすべての電源コードおよびライン カード インターフェイス ケーブルを取り外してください。
- 他の人が通行する場所には、工具やスイッチ ルータ コンポーネントを置かないでください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや保護アースの不備がないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。

電気製品を安全に取り扱うための注意事項

スイッチ ルータの電気および電子コンポーネントを取り扱う際は、安全を確保するため、次の注意事項に従ってください。

- カード ケージやその他のスイッチ ルータ内部のコンポーネントの作業を行う前に、室内の緊急電源遮断スイッチがどこにあるかを確認しておきます。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 回路の電源が切断されていると思いつまらず、ルータ上で作業をする前に必ず確認してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや保護アースの不備がないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。

また、電話回線やその他のネットワーク ケーブルに接続された装置を取り扱う際は、次の注意事項に従ってください。



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。

- 防水設計されていない電話ジャックは、濡れた場所に取り付けしないでください。
- 電話回線がネットワーク インターフェイスから切り離されている場合以外、絶縁されていない電話ケーブルや端子には、触れないでください。
- 電話回線の設置または変更は、十分注意して行ってください。

静電破壊の防止

ESD（静電気放電）により、装置や電子回路が損傷を受けることがあります（静電破壊）。静電破壊は電子カードや部品の取り扱いが不適切な場合に発生し、故障または間欠的な障害をもたらします。

回路基板を扱うときは、次の注意事項に従って、ESD による損傷を防止してください。

- 必ず、静電気防止用リストストラップを肌に密着させて使用してください。
- スイッチ ルータの回路基板やアセンブリの交換または取り付けの際は、上部カード ケージの左下端のESDソケットにリストストラップの装置側(バナナジャック)を差し込んでください。
- 不良回路基板を修理または交換のため工場に返却する場合は、取り外した基板をただちに静電気防止用袋に入れて基板を静電破壊から防いでください。
- リスト ストラップは体内の静電気からコンポーネントを保護するだけです。衣服の静電気によって、電子部品に静電破壊が生じることがあります。



注意

安全のために、静電気防止用リスト ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は1 ~ 10Mohm でなければなりません。

必要な工具および部品

ケーブル マネジメント トレイやケーブル マネジメント ブラケットを取り付けまたは交換するには、次の工具が必要です。

- 1/4 インチ マイナス ドライバ
- No.1 プラス ドライバ
- 静電気防止用リスト ストラップ
- ACS-GSR8-CCBLM(=) — ケーブル マネジメント トレイ
- ACS-GSR-LCCBLM(=) — ケーブル マネジメント ブラケット

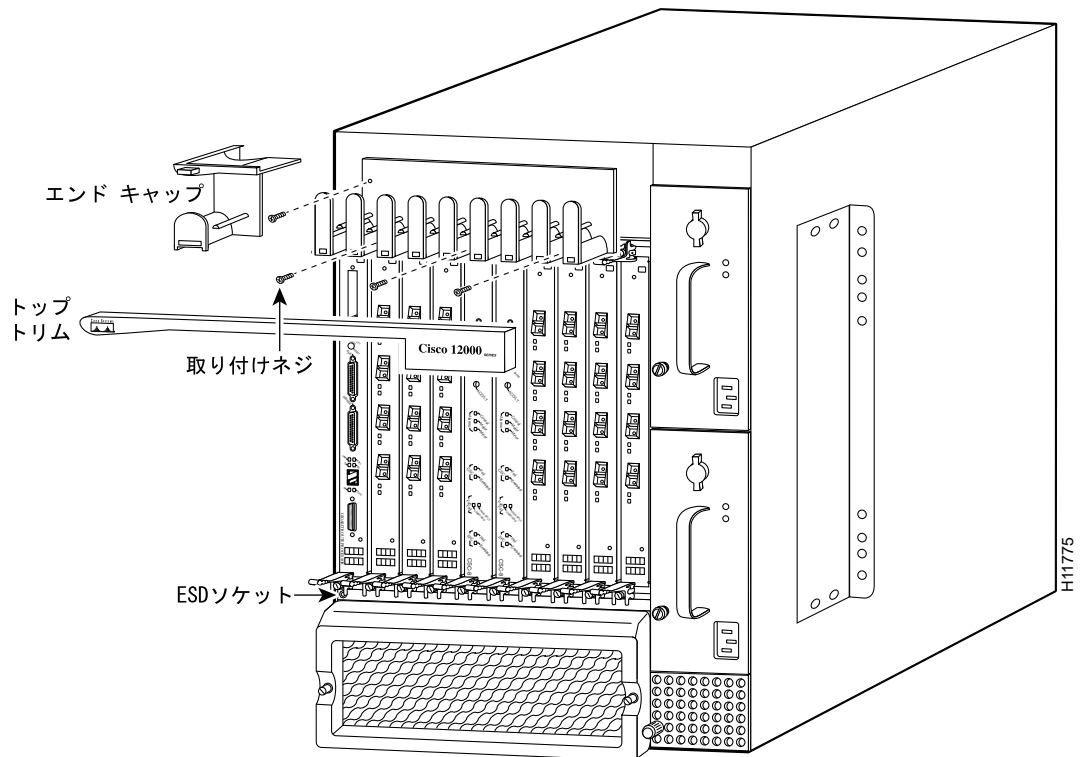
ケーブル マネジメント システムの交換

ここでは、Cisco 12008 のケーブル マネジメント トレイやケーブル マネジメント ブラケットを取り外しおよび取り付けする手順について説明します。

ケーブル マネジメント トレイの取り外し

ケーブル マネジメント トレイ (ACS-GSR8-CCBLM) は、エンド キャップ、トップ トリム、およびトレイの 3 つの部分で構成されています (図 1 を参照)。

図 1 Cisco 12008 のケーブル マネジメント トレイ



システムの稼働中にケーブル マネジメント トレイを取り外すには、次の手順を実行します。

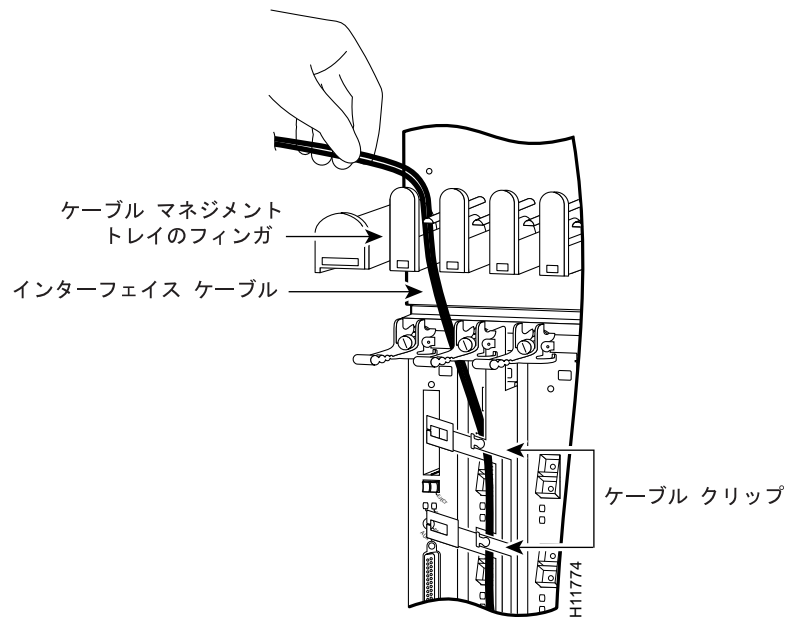


(注)

ルータ内部のコンポーネントを扱う前に、静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側 (バナナジャック) を、上部カード ケージの左下端にある ESD アース ソケットに差し込みます (図 3 を参照)。

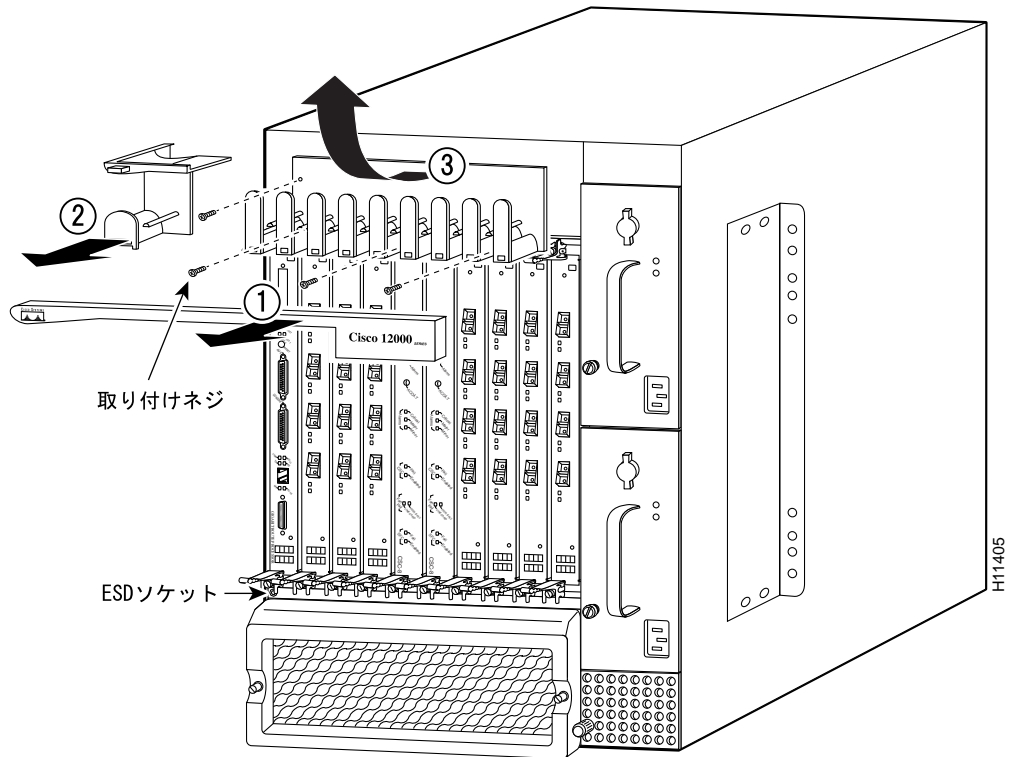
- ステップ 1** 上部カード ケージの左から順に、最初のライン カードを選択します。ライン カードの最下部のポートに対応するインターフェイス ケーブルから始め (マルチ ポート カードの場合)、ケーブル マネジメント トレイ上のフィンガからケーブルを外します (図 2 を参照)。各インターフェイス ケーブルでこの作業を繰り返します。

図2 ケーブル マネジメント トレイからのインターフェイス ケーブルの取り外し



- ステップ 2** ケーブル マネジメント トレイからインターフェイス ケーブルを取り外したら、ケーブル マネジメント トレイの取り外しに備えて邪魔にならないところに置きます。
- ステップ 3** ケーブル マネジメント トレイをルータ シャーシのくぼみに固定している 4 本の取り付けネジを外します (図 3 を参照)。取り外したネジは、あとで使用できるように保管しておきます。
- ステップ 4** トップ トリムをシャーシの固定具から引き抜くようにしてシャーシから外します (図 3 の 1 を参照)。
- ステップ 5** エンドキャップ (左端の最大のフィンガ) をシャーシの固定具から引き抜くようにして、シャーシから外します (図 3 の 2 を参照)。
- ステップ 6** ルータ シャーシのくぼみから引き離すように、ケーブル マネジメント トレイの下部を回転させます (図 3 の 3 を参照)。
- ステップ 7** ルータからケーブル マネジメント トレイを取り外して脇に置きます。

図 3 Cisco 12008 からのケーブル マネジメント トレイの取り外し手順



Cisco 12008 のケーブル マネジメント トレイを取り外す作業は、これで完了です。

ケーブル マネジメント トレイの取り付け

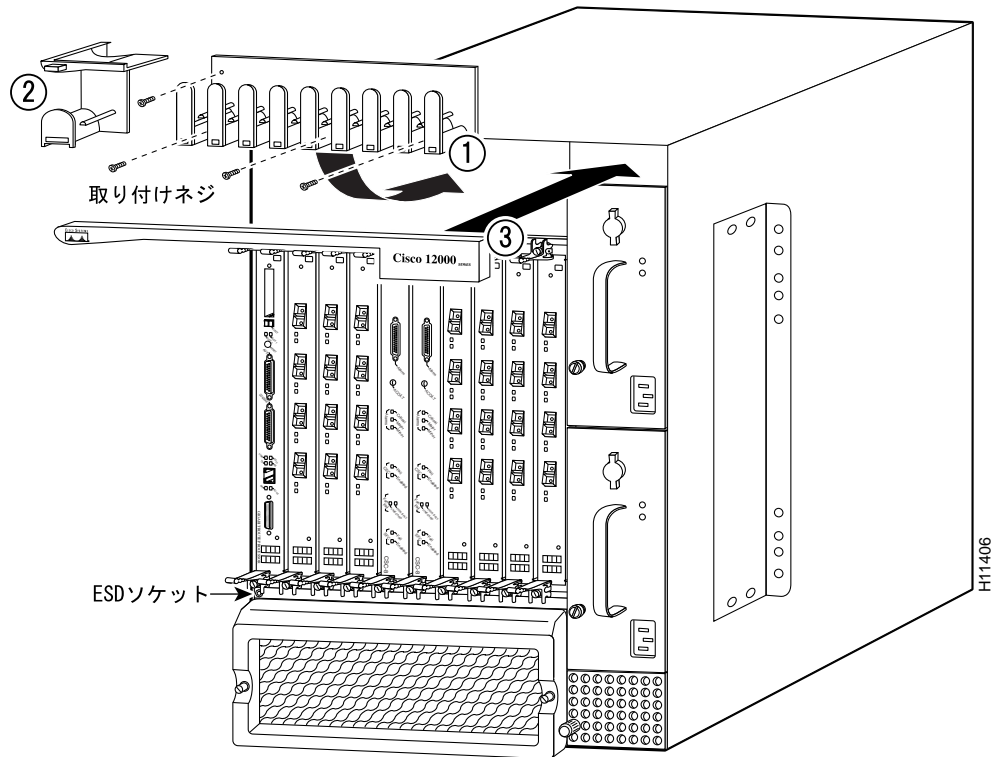
システムの稼働中にケーブル マネジメント トレイを取り付けるには、次の手順を実行します。



(注) ルータ内部のコンポーネントを扱う前に、静電気防止用リスト ストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側 (バナナジャック) を、上部カード ケージの左下端にある ESD アース ソケットに差し込みます (図 3 を参照)。

- ステップ 1 輸送用の箱から交換用のケーブル マネジメント トレイを取り出します。
- ステップ 2 ケーブル マネジメント トレイの上部がルータ シャーシのトレイ用くぼみの方を向くような角度にします (図 4 を参照)。
- ステップ 3 ケーブル マネジメント トレイの下部をルータに対して内側に回転し、トレイ用くぼみの板金と同一面になるようにします (図 4 の 1 を参照)。
- ステップ 4 前の「ケーブル マネジメント トレイの取り外し」(p.4) で保管しておいた右端の 2 つのネジを使用して、くぼみ部分にケーブル マネジメント トレイを固定します。

図4 ケーブル マネジメント トレイの取り付け手順



- ステップ 5** エンドキャップをシャーシの固定具に押しつけてシャーシに取り付けます (図4の2を参照)。
- ステップ 6** 前の「ケーブル マネジメント トレイの取り外し」(p.4) で保管しておいた残りの2つのネジを使用して、くぼみ部分にケーブル マネジメント トレイを固定します。
- ステップ 7** トップ トリムをシャーシの固定具に押しつけてシャーシに取り付けます (図4の3を参照)。
- ステップ 8** ケーブル マネジメント トレイの下部で、接続されたインターフェイス ケーブルがトレイから直接目的のラインカードに進むように、慎重に配置します (図7を参照)。

Cisco 12008 のケーブル マネジメント トレイを取り付ける作業は、これで完了です。

ケーブル マネジメント ブラケットの取り外し

ラインカードからケーブル マネジメント ブラケットを取り外すには、次の手順を実行します。



- (注) ルータ内部のコンポーネントを扱う前に、静電気防止用リスト ストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側 (バナナジャック) を、上部カード ケージの左下端にある ESD アース ソケットに差し込みます (図3を参照)。

ステップ 1 現在、各ライン カードのポートにどのようにインターフェイス ケーブルが接続されているかを書き留めます。



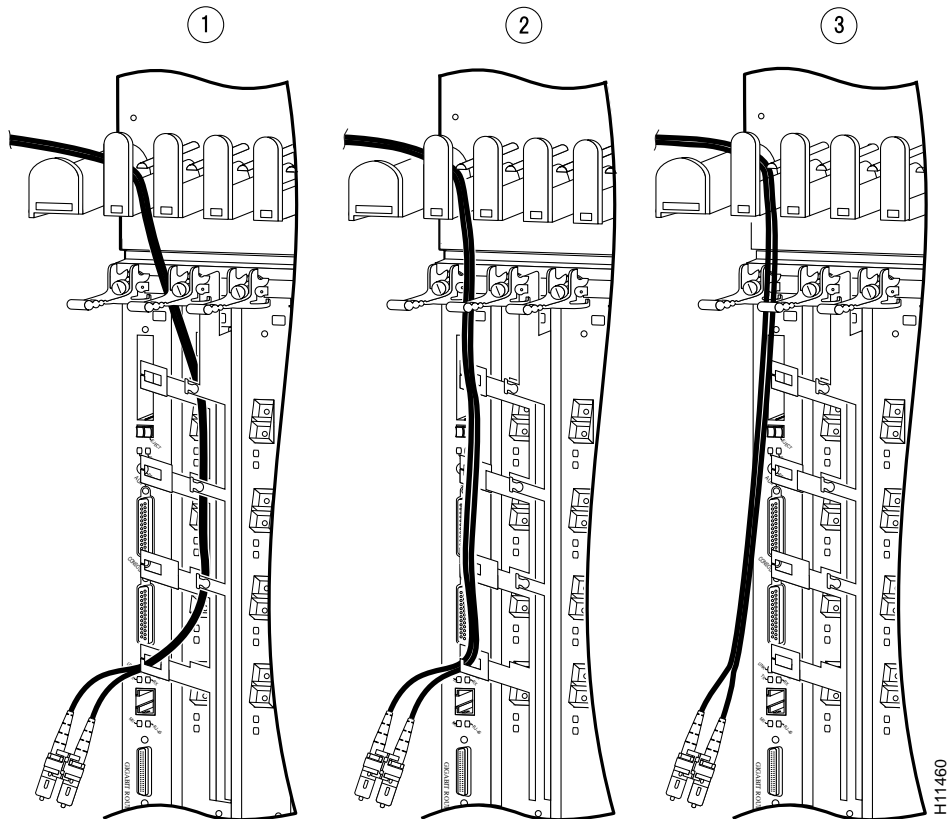
(注) この作業が不要な場合もあります。元のインターフェイス ケーブルが適切に取り付けられている場合、接続先ポートに対する各ケーブルの長さに関して、問題が起きることはほとんどありません。

ステップ 2 ライン カードの最下部ポート（マルチポート カードの場合）のインターフェイス ケーブルから始め、ポートからケーブルを外します（図 5 の 1 を参照）。

ステップ 3 上に進み、ケーブル保持クリップを支えているすべての金属製フィンガの間からインターフェイス ケーブルを外します（図 5 の 2 を参照）。

ステップ 4 対応するケーブル保持クリップからインターフェイス ケーブルを外します（図 5 の 3 を参照）。ケーブルは、あとで使用できるように脇に置いておきます。

図 5 ライン カードからのインターフェイス ケーブルの取り外し手順

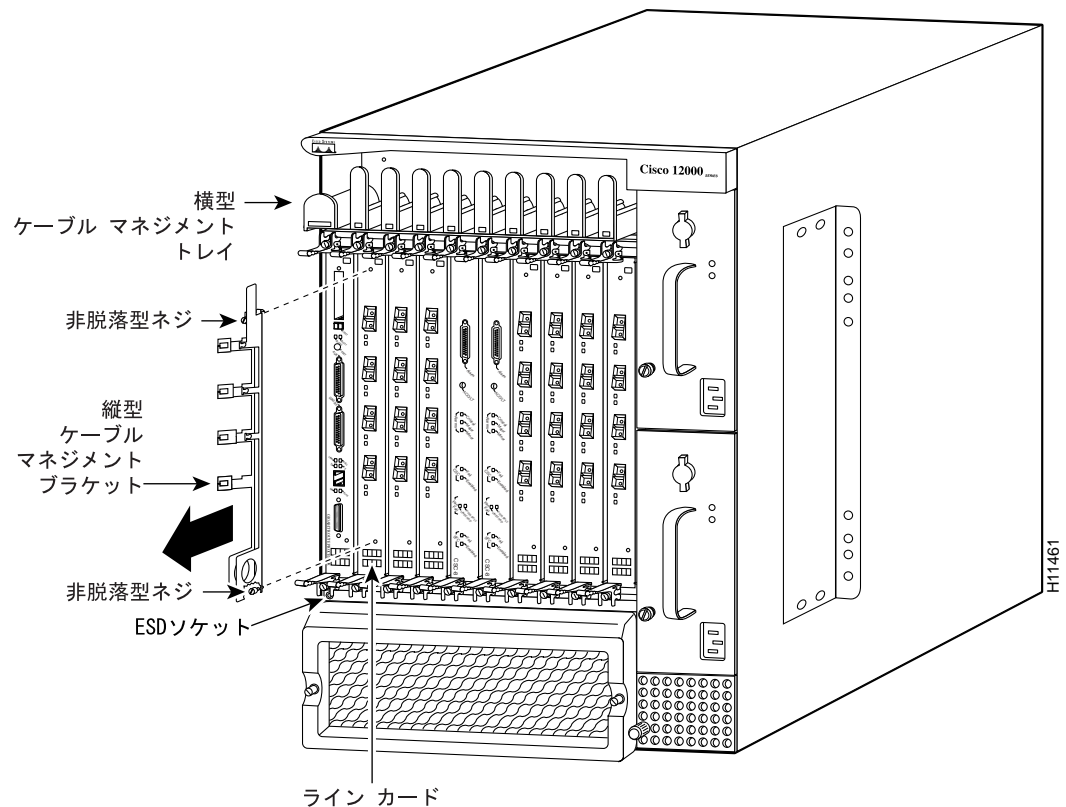


ステップ 5 ステップ 2 に戻り、最下部から上に向かって順に、ケーブル取り外し手順を繰り返して、ライン カードのポートからすべてのインターフェイス ケーブルを取り外します。

ステップ 6 ラインカードのすべてのインターフェイス ケーブルを取り外したら、ケーブル マネジメント ブラケットの上下にある非脱落型ネジを緩めます (図 6 を参照)。

ステップ 7 ラインカードからケーブル マネジメント ブラケットを取り外します。

図 6 ケーブル マネジメント ブラケットの取り外し



Cisco 12008 のケーブル マネジメント ブラケットを取り外す作業は、これで完了です。

ケーブル マネジメント ブラケットの取り付け

以下の手順では、ルータに新しいラインカードを取り付けたので、そのカードにケーブル マネジメント ブラケットも取り付けなければならないという状況を想定しています。ケーブル マネジメント ブラケットの上部に小さなフックがあり、ラインカードの交換作業の間、ケーブル マネジメント トレイの小さなノッチにブラケットを引っかけておくことができます。

ラインカードにケーブル マネジメント ブラケットを取り付けるには、次の手順を実行します。

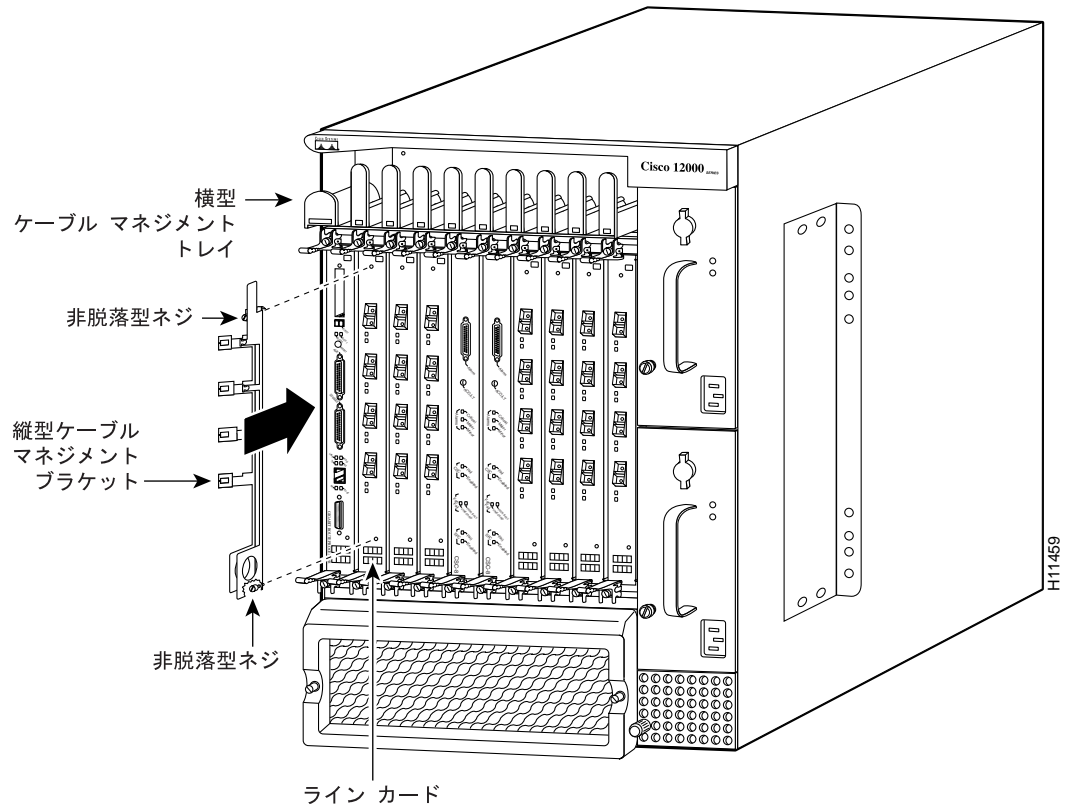


(注)

ルータ内部のコンポーネントを扱う前に、静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側 (バナナジャック) を、上部カード ケージの左下端にある ESD アース ソケットに差し込みます (図 3 を参照)。

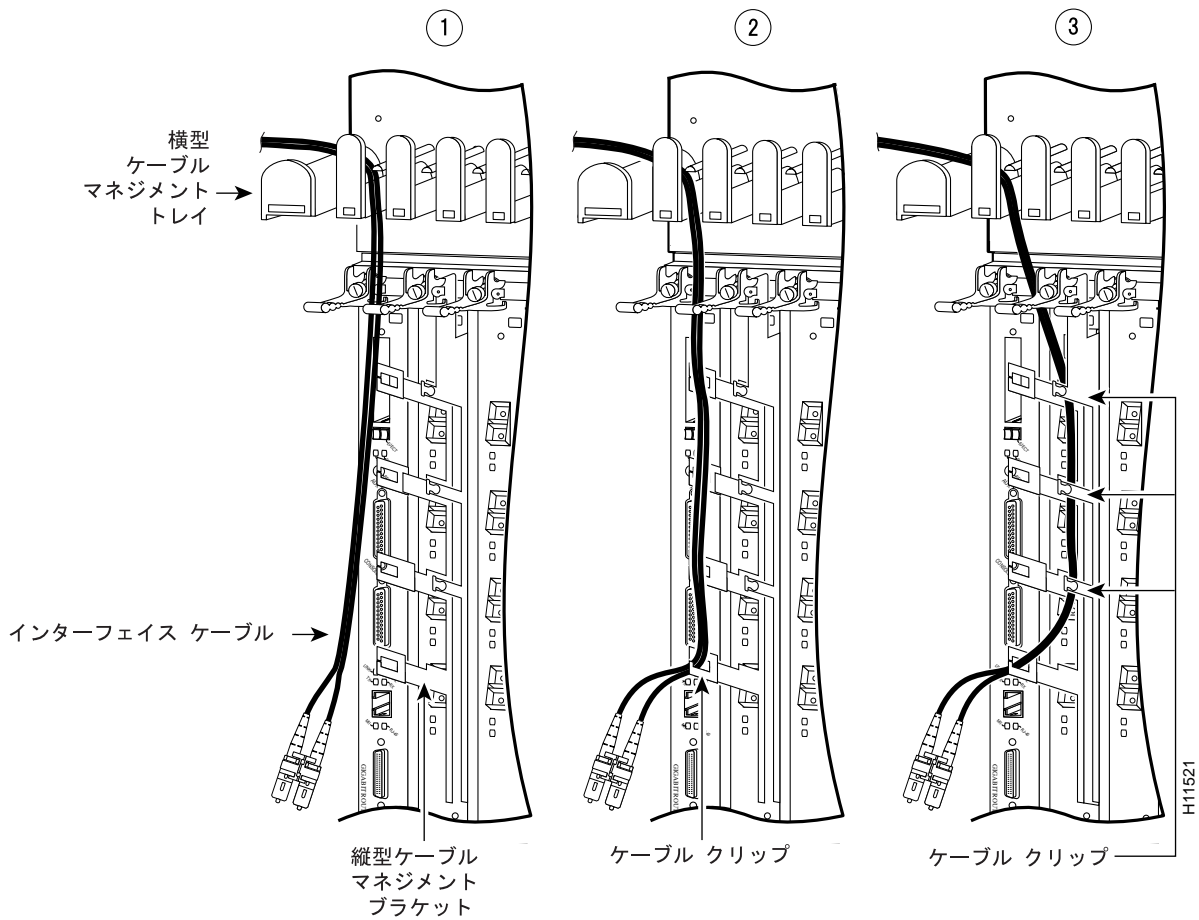
- ステップ 1** ケーブル マネジメント ブラケットの上下にある2つの非脱落型ネジを使用して、ライン カードにケーブル マネジメント ブラケットを固定します (図 7 を参照)。

図 7 ライン カードへのケーブル マネジメント ブラケットの取り付け



- ステップ 2** ケーブル マネジメント トレイのインターフェイス ケーブルを慎重に配置します (マルチポートのライン カードの場合)。個々のケーブルについて、目的のポートに適した長さを判断し、ライン カードのポートまでケーブルを引き回します。
- ステップ 3** ライン カードの最下部ポートから始め、目的のポートにインターフェイス ケーブルを接続します (図 7 の 1 を参照)。
- ステップ 4** ケーブル マネジメント ブラケットの対応するケーブル保持クリップに、インターフェイス ケーブルを慎重に押し込みます (図 7 の 2 を参照)。ケーブルがよじれたり、鋭く折れ強く曲がったりしないように注意してください。
- ステップ 5** 上に進み、ケーブル保持クリップを支えているすべての金属フィンガの間にインターフェイス ケーブルを慎重に押し込みます (図 7 の 3 を参照)。

図 8 ラインカードへのインターフェイスケーブルの取り付け手順



ステップ 6 ステップ 3 に戻り、最下部から上に向かって順に、ケーブルの取り付け手順を繰り返して、ラインカードのポートにすべてのインターフェイスケーブルを取り付けます。

Cisco 12008 のケーブル マネジメント ブラケットを取り付ける作業は、これで完了です。

CCO

Cisco Connection Online (CCO) は、シスコシステムズの主要なリアルタイム サポート チャンネルです。メンテナンス契約のお客様およびパートナーは、CCO に登録しておく、追加の情報やサービスを入手することができます。

CCO は、年中無休 24 時間体制で利用でき、シスコのお客様およびパートナーに豊富な標準サービスおよび付加価値サービスを提供しています。CCO では、製品情報、製品マニュアル、ソフトウェアアップデート、リリース ノート、テクニカル チップ、バグ ナビゲータ、コンフィギュレーション ノート、パンフレット、提供サービスなどの情報が得られると共に、共有ファイルおよび許可ファイルにアクセスして、ダウンロードすることができます。

CCO は、キャラクタ ベース バージョンおよび WWW のマルチメディア バージョンの、同時更新される 2 つのインターフェイスにより、広範囲のユーザに対応しています。キャラクタ ベースの CCO は、Z モデム、Kermit、X モデム、FTP、インターネット電子メールをサポートしており、狭い帯域幅で情報に簡単にアクセスできます。WWW バージョンの CCO は、写真、図、グラフィック、ビデオなど充実した内容のドキュメント、および関連情報へのハイパーリンクを提供しています。

CCO には、次の方法でアクセスできます。

- WWW : <http://www.cisco.com>
- WWW : <http://www.cisco.com/jp>
- WWW : <http://www-europe.cisco.com>
- WWW : <http://www-china.cisco.com>
- Telnet : cco.cisco.com

CCO の FAQ (よくある質問) のコピーをご希望の方は、cco-help@cisco.com にご連絡ください。その他の情報については、cco-team@cisco.com にご連絡ください。



(注)

シスコ製品について、保証範囲またはメンテナンス契約に基づく個別の技術支援が必要なネットワーク管理者の方は、Technical Assistance Center (TAC)、tac@cisco.com または japan-tac@cisco.com にご連絡ください。シスコシステムズ、シスコ製品、またはアップグレードに関する一般情報については、cs-rep@cisco.com にお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると妨害電波を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

この資料は、『Cisco 12008 Gigabit Switch Router Installation and Configuration Guide』と併せてご利用ください。

CCIP、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Systems Verified のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、Internet Quotient、iQ Breakthrough、iQ Expertise、iQ FastTrack、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、Networking Academy、ScriptShare、SMARTnet、TransPath、Voice LAN は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、Discover All That's Possible、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、IOS、IP/TV、LightStream、MGX、MICA、the Networkers のロゴ、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、SlideCast、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という用語を使用しているも、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0203R)

Copyright © 1997-2002, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用下さい。

Cisco Connection Online Japan
<http://www.cisco.com/japanese/manuals/>

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター
<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用下さい。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501